

東京 2020 オリンピック 競技大会 トラック & フィールド 種目 日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2021年の東京オリンピックは、日本陸上競技界にとって歴史を画する大会であり、陸上競技に携わる人々と国民の期待を背に、個人やチームが最大限の力を発揮できることが重要である。この点を踏まえ、より多くのメダルや入賞を獲得できることを目標とし、この目標を達成するために、日本陸上競技連盟としての戦略のもと、メダル獲得及び8位入賞を目指す競技者を一人でも多く派遣する。

2. 開催地

東京・札幌

3. 開催期間

2021年7月30日（金）～8月8日（日）

4. 開催種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、マラソン、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、20km競歩、50km競歩、4×100mリレー、4×400mリレー

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、マラソン、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、20km競歩、4×100mリレー、4×400mリレー

(3) 混合

4×400mリレー

5. 主なスケジュール

2020年

12月4日（金）

第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目（2020／大阪）

2021年

5月3日（月・祝）

第105回日本陸上競技選手権大会・10000m（2021／静岡）

6月12日（土）～13日（日）

第105回日本陸上競技選手権大会・混成（2021／長野）

6月24日（木）～27日（日）

第105回日本陸上競技選手権大会（2021／大阪）

6月28日（月）

第1次日本代表内定選手発表

6月29日（火）

参加標準記録有効期限終了

7月1日（木）

ワールドアスレティックス（以下「WA」という。）から公表

・承認された参加標準記録未達成競技者のリスト

・参加標準記録によって参加資格を付与された競技者リスト

・WAワールドランキングと参加資格を取得した競技者

・参加資格を取得したリレーチームリスト

7月2日（金）以降

第2次日本代表内定選手発表

※以降、WAによる追加の可能性あり。

6. 選考競技会

(1) 個人種目

- 1) 第 104 回日本陸上競技選手権大会・長距離種目 (2020/大阪)
- 2) 第 105 回日本陸上競技選手権大会 (2021/大阪)
- 3) 第 105 回日本陸上競技選手権大会・混成競技 (2021/長野)
- 4) 第 105 回日本陸上競技選手権大会・10000m (2021/静岡)

(2) リレー種目

1) 男子 4×100m リレー

- ①最重要選考競技会
・第 105 回日本陸上競技選手権大会 (2021/大阪)
- ②参考競技会
・2021 シレジア世界リレー選手権大会
・WA が記録を公認する競技会

2) 男子 4×400m リレー

- ①最重要選考競技会
・第 105 回日本陸上競技選手権大会 (2021/大阪)
- ②重要選考競技会
・2021 シレジア世界リレー選手権大会
- ③参考競技会
・WA が記録を公認する競技会

3) 女子 4×100m リレー・女子 4×400m リレー

- ①最重要選考競技会
・第 105 回日本陸上競技選手権大会 (2021/大阪)
- ②重要選考競技会
・2021 シレジア世界リレー選手権大会
・2021 杭州アジア陸上競技選手権大会
・READY STEADY TOKYO
・その他日本代表リレーチームとして派遣される競技会 (女子 4×100m リレー、
女子 4×400m リレー)
- ③参考競技会
・WA が記録を公認する競技会

4) 混合 4×400m リレー

- ①男子代表
選考競技会は、男子 4×400m リレーに準ずる。
- ②女子代表
選考競技会は、女子 4×400m リレーに準ずる。

7. 選考基準

下記の各条件中の競技成績については、当該種目に係る成績のみ考慮する。下記の数字の若い順に優先する。

(1) 個人種目 (男女 5000m、10000m、3000mSC 除く)

- 1) 第 105 回日本陸上競技選手権大会 (以下「第 105 回日本選手権」という。) 3 位入賞以上の成績を収めた競技者であって、第 105 回日本選手権当該種目終了時点までに参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - ②参加標準記録有効期間内の記録
 - ③2021 年度に開催される国内主要競技会 (日本グランプリシリーズ等) の成績
- 2) 第 105 回日本選手権 3 位入賞以上の成績を収めた競技者であって、ワールドランクにより出場資格を得た競技者。ただし、下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - ②ワールドランク (2021 年 7 月 1 日 WA 公表)
 - ③参加標準記録有効期間内の記録
 - ④2021 年度に開催される国内主要競技会 (日本グランプリシリーズ等) の成績

- 3) 参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - a.ラウンド進出上位
 - b.同じラウンド内で比較する場合は記録上位
 - ②参加標準記録有効期間内の記録
 - ③2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 4) ワールドランクにより出場資格を得た競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - a.ラウンド進出上位
 - b.同じラウンド内で比較する場合は記録上位
 - ②ワールドランク（2021 年 7 月 1 日 WA 公表）
 - ③参加標準記録有効期間内の記録
 - ④2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 5) ファイナルエントリー後に WA から追加による出場資格が認められた競技者。

補足

WA のルールとして、100m 代表選手は、4×100m リレーに、400m 代表選手は、4×400m リレーにそれぞれ必ずエントリーされることから、100m 代表選手及び 400m 代表選手については、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画し、参加を求めた遠征、競技会及び合宿に参加した者の中から選考するものとする。

(2) 個人種目（男女 5000m、10000m、3000mSC）

- 1) 第 104 回日本陸上競技選手権・長距離種目において、優勝した競技者で第 104 回日本陸上競技選手権・長距離種目終了時点までに、参加標準記録を満たした競技者。
- 2) 第 105 回日本陸上競技選手権大会 3 位入賞以上の成績を収めた競技者であって、第 105 回日本選手権当該種目終了時点までに参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - ②参加標準記録有効期間内の記録
 - ③2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 3) 第 105 回日本選手権 3 位入賞以上の成績を収めた競技者であって、ワールドランクにより出場資格を得た競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - ②ワールドランク（2021 年 7 月 1 日 WA 公表）
 - ③参加標準記録有効期間内の記録
 - ④2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 4) 参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - ②参加標準記録有効期間内の記録
 - ③2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 5) ワールドランクにより出場資格を得た競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ①第 105 回日本選手権の順位
 - a.ラウンド進出上位
 - b.同じラウンド内で比較する場合は記録上位
 - ②ワールドランク（2021 年 7 月 1 日 WA 公表）
 - ③参加標準記録有効期間内の記録
 - ④2021 年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 6) ファイナルエントリー後に WA から追加による出場資格が認められた競技者。

(3) リレー種目

各リレー種目の代表選手は、下記の基準でリレーの特性を考慮して選考する。

混合 4×400m リレー、及び、男女 4×400m リレーは、両種目の総合的な戦略を踏まえて選考する。

男女 4×100m リレー、男女 4×400m リレーは、各 5 名をリレーのエントリー選手として選考し、1 名を補欠選手として指定する。

混合 4×400m リレーは、男子 2 名、女子 2 名をリレーのエントリー選手として選考し、男子 1 名・女子 1 名を補欠選手として指定する。

ただし、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画し、参加を求めた遠征、競技会及び合宿に参加した者の中から選考するものとする。

男子 4×400m リレー、女子 4×100m リレー、女子 4×400m リレー、混合 4×400m リレーについては、オリンピックリレー代表候補選手を定める。オリンピックリレー代表候補選手の設定基準は以下の通りとする。

・オリンピックリレー代表候補選手について

i) 男子 4×400m リレー

- ・2021 シレジア世界リレー選手権大会においてオリンピックの出場権を獲得した場合、その際の日本代表として派遣された競技者

(対象種目：男子 4×400m リレー、混合 4×400m リレー)

- ・参考競技会において、下記のオリンピックリレー代表候補選手設定記録突破者
200m : 20 秒 45 300m : 32 秒 34 400m : 45 秒 42

ii) 女子 4×100m リレー、女子 4×400m リレー

- ・2021 シレジア世界リレー選手権大会の日本代表派遣者

(対象種目：女子 4×100m リレー、女子 4×400m リレー、混合 4×400m リレー)

- ・オリンピック参加標準記録突破者 (対象種目：100m、200m、400m)
- ・参考競技会において、下記のオリンピックリレー代表候補選手設定記録突破者
100m : 11 秒 47 200m : 23 秒 44 400m : 52 秒 99

iii) 混合 4×400m リレー

- ・男子 4×400m リレー、女子 4×400m リレーに準じる。

1) 男子 4×100m リレー

①100m 代表選手

- ②第 105 回日本選手権、参考競技会の成績を総合的に判断し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

2) 男子 4×400m リレー

①400m 代表選手

- ②オリンピックリレー代表候補選手のうち、第 105 回日本選手権 400m/200m の結果から、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。
- ③リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

3) 女子 4×100m リレー

①100m 代表選手

- ②オリンピックリレー代表候補選手のうち、2021 シレジア世界リレー選手権大会に出場し、出場権を獲得した競技者。または、出場権を獲得するために、必要な記録を出したリレーメンバー。ただし①の該当者が複数いる場合は、第 105 回日本選手権の 100m、200m の上位者から順に選考する。(同順位の場合は 100m を優先)
- ③オリンピックリレー代表候補選手で、①、②を除いた、第 105 回日本選手権の 100、200m の最上位者(同順位の場合は 100m を優先)
- ④第 105 回日本選手権、その他の選考競技会の成績を総合的に判断し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

4) 女子 4×400m リレー

①400m 代表選手

- ②オリンピックリレー代表候補選手のうち、2021 シレジア世界リレー選手権大会に出場し、出場権を獲得した競技者。または、出場権を獲得するために、必要な記録を出したリレーメン

バー。ただし、①の該当者が複数いる場合は、第105回日本選手権の400mの上位者から順に選考する。

③オリンピックリレー代表候補選手で、①②を除いた、第105回日本選手権の400mの最上位者

④第105回日本選手権、その他の選考競技会の成績を総合的に判断し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

5) 混合4×400mリレー

選考競技会の成績を総合的に判断し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

8. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目（男女5000m、10000m、3000mSC除く）

1) 第105回日本選手権当該種目終了時点における内定条件（選考基準(1)1）

第105回日本選手権3位入賞以上の成績を収め、第105回日本選手権当該種目終了時までに参加標準記録を満たした競技者については、第105回日本選手権の順位の上位順に3名に達するまで、第105回日本選手権当該種目終了時点において内定とし、理事会において決定する。

2) WAによる参加有資格者発表後の選考（選考基準(1)2～4）、2021年7月2日以降予定）

前記1)の項による内定者ではWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準(1)2～4)に従い、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

3) ファイナルエントリー後のWAランキングによる追加（選考基準(1)5）、2021年7月2日以降予定）

選考基準(1)1～4)により代表選手として決定した者がWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、WAから追加による出場資格が認められた競技者を、専務理事が承認することにより決定する。

4) 前記1)～3)にかかわらず、選考後に辞退等により選考を取り消すべき状況が発生した場合には、その時点において適用すべき決定手続により、必要な選考（既に決定した選考の取り消しも含む）を行うものとする。

(2) 個人種目（男女5000m、10000m、3000mSC）

1) 第104回日本選手権・長距離種目終了時点における内定条件（選考基準(2)1)）

第104回日本選手権・長距離における優勝者、かつ、第104回日本選手権・長距離該当種目終了時点で参加標準記録を満たした競技者については内定とし、専務理事が承認することにより決定する。

2) 第105回日本選手権当該種目終了時点における内定条件（選考基準(2)2）

第105回日本選手権3位入賞以上の成績を収め、第105回日本選手権当該種目終了時までに参加標準記録を満たした競技者については、第105回日本選手権の順位の上位順に優先順位上位の項による内定者も含めて、3名に達するまで、第105回日本選手権当該種目終了時点において、内定とし、理事会において決定する。

3) WAによる参加有資格者発表後の選考（選考基準(2)3～5）、2021年7月2日以降予定）

前記1)及び2)の項による内定者ではWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準(2)3～5)に従い、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

4) ファイナルエントリー後のWAランキングによる追加（選考基準(2)6）、2021年7月2日以降予定）

選考基準(2)1～5)により代表選手として決定した者がWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、WAから追加による出場資格が認められた競技者を、専務理事が承認することにより決定する。

5) 前記1)～4)にかかわらず、選考後に辞退等により選考を取り消すべき状況が発生した場合には、その時点において適用すべき決定手続により、必要な選考（既に決定した選考の取り消しも含む）を行うものとする。

(2) リレー種目

WAによる参加有資格者発表後の選考（選考基準(1)1)~4)、2021年7月2日以降予定）
選考基準(1)1)~5)の個人種目で選考された選手とあわせ、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

9. 補足

- (1) 代表選手の正式決定は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会により決定される。
- (2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (3) WAが定めるエントリースタンダードに準じて必要に応じて、補欠選手を選考できる。
- (4) 参加標準記録の有効期間は下記の通り。

10000m、混成競技：	2019年1月1日～2020年4月5日
	2020年12月1日～2021年6月29日
その他の種目：	2019年5月1日～2020年4月5日
	2020年12月1日～2021年6月29日
- (5) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (6) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (7) 代表選手は、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならない。なお、WAのルールとして、100m代表選手は、4×100mリレーに、400m代表選手は、4×400mリレーにそれぞれ必ずエントリーされることから、100m代表選手は、4×100mリレー、400m代表選手は、4×400mリレーについても、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならないことに留意されたい。
- (8) リレーの代表選手（WAのルールにより100m代表選手または400m代表選手として、WAのルールにより、4×100mリレーまたは4×400mリレーにエントリーされた者を含む）は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (9) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (10) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

以上

東京 2020 オリンピック競技大会
トラック&フィールド種目ターゲットナンバー・参加標準記録

男子		種目	女子	
ターゲットナンバー	参加標準記録		ターゲットナンバー	参加標準記録
56	10.05	100m	56	11.15
56	20.24	200m	56	22.80
48	44.90	400m	48	51.35
48	1:45.20	800m	48	1:59.50
45	3:35.00	1500m	45	4:04.20
42	13:13.50	5000m	42	15:10.00
27	27:28.00	10000m	27	31:25.00
40	13.32	110mH/100mH	40	12.84
40	48.90	400mH	40	55.40
45	8:22.00	3000mSC	45	9:30.00
32	2.33	走高跳	32	1.96
32	5.80	棒高跳	32	4.70
32	8.22	走幅跳	32	6.82
32	17.14	三段跳	32	14.32
32	21.10	砲丸投	32	18.50
32	66.00	円盤投	32	63.50
32	77.50	ハンマー投	32	72.50
32	85.00	やり投	32	64.00
24	8350	十種競技/七種競技	24	6420
ドーハ世界選手権上位 8ヶ国 + ワールドリレー上位 8ヶ国 +WA ランキング上位		4×100m リレー 4×400m リレー	ドーハ世界選手権上位 8ヶ国 + ワールドリレー上位 8ヶ国 +WA ランキング上位	
ドーハ世界選手権上位 8ヶ国 + ワールドリレー上位 8ヶ国 +WA ランキング上位		混合 4×400m リレー		

※男子 4×100m リレーは、ドーハ 2020 世界陸上競技選手権の成績により、本大会の出場権獲得済み。